

(広報資料)

平成22年10月18日

都市計画局

担当：歩くまち京都推進室

電話：222-3483

～「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦により「歩くまち・京都」を実現～

地域や大学等と連携し、モビリティ・マネジメントに取り組みます！！

京都市では、「人が主役の魅力あるまちづくり」を推進し、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指すため、本年1月に「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定するとともに、「歩くまち・京都」憲章を制定しました。

この「歩くまち・京都」総合交通戦略に基づいて、京都市では、一人ひとりが歩く暮らしを大切にすることによって、クルマを重視したまちと暮らしから、歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための取組として、全国で初めて、大規模なモビリティ・マネジメントを体系的に実施する、「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦を推進しています。

地域や大学等、本市と連携して取り組むモビリティ・マネジメントについて、本年8月に募集したところ、8件の御応募がありました。

この度、それらの中から、本市が支援する事業5件を選定し、歩くことを中心としたライフスタイルへの転換を目指して取り組んでまいりますので、下記のとおりお知らせします。

モビリティ・マネジメント（MM）とは

「かしこいクルマの使い方」を考えて実践していただくため、例えば、交通手段の出すCO₂排出量の比較などを盛り込んだ動機付け情報や、個人の交通行動を考えるうえで最もわかりやすい情報である公共交通利用促進マップ、交通行動に関するアンケート、更なるその結果のフィードバックなどを活用したコミュニケーションを図り、自発的な交通行動の変化を促すこと。

記

○ 支援する事業（詳細は別紙のとおり）

事業名	実施体制（※応募代表者）	支援額 (千円)
立命館大学衣笠キャンパスへの交通アクセス改善プロジェクト	立命館大学※ 洛星中学校・洛星高等学校 京福電気鉄道株式会社 京都市交通局 北区役所（連携）	4,000

事業名	実施体制（※応募代表者）	支援額 (千円)
京都市外からの転入者を対象としたモビリティ・マネジメント～区役所窓口での「歩いて楽しいまち」の実現に向けた取組～	京都大学※ 株式会社まち創生研究所 左京区役所（連携） 下京区役所（連携） 伏見区役所（連携）	3,265
大学生の休日における交通行動の見直しと地下鉄駅を中心とした「地下鉄てくてくマップ」の作成	平安女学院大学※ 京都市交通局 上京区役所（連携） 左京区役所（連携） 中京区役所（連携） 山科区役所（連携）	1,000
西陣デマンド交通の住民ニーズ調査と実施計画策定	西陣デマンド交通を考える会※ （北野商店街振興組合 仁和学区福祉連合会 有限会社とりみ 佛教大学 西陣千本商店街振興組合 NPO高齢者ネット援護会 洛和会丸太町病院 西陣病院 相馬病院 株式会社スペースサピエンス 大正製パン所） 上京区役所（連携）	838
乗ってみよう I N南太秦DE市バス	南太秦自治連合会※ 京都市交通局 右京区役所（連携）	388

事業名	実施体制	応募代表者及び 連絡先	事業概要	実施対象	予定スケジュール	支援額 (千円)
立命館大学衣笠キャンパスへの交通アクセス改善プロジェクト	立命館大学 洛星中学校・洛星高等学校 京福電気鉄道株式会社 京都市交通局 北区役所（連携）	○応募代表者 立命館大学文学部教授 矢野桂司 ○連絡先 電話 075-465-8224	<p>【現状・実施目的】</p> <p>○ 立命館大学衣笠キャンパスには、現在、約18,000人の学生が在学し（教職員については約1,300人が勤務）、日々の通学・通勤行動を行っている。また、学生は通学のみならず、クラブ・サークル活動あるいはアルバイト活動等においても市内を移動している。その結果、授業開始時や終了時の衣笠キャンパス周辺は（京都駅や西院、円町などの鉄道駅においても）学生であふれ、自転車・バイクの交通事故が発生するなど、様々な交通問題の原因となっている。</p> <p>○ 洛星中学校・洛星高等学校（全生徒数約1,300人）では、朝・夕の登下校時に自転車の利用が集中している。</p> <p>【実施内容】</p> <p>○ 立命館大学衣笠キャンパスに通学する全学生への交通実態調査及び洛星中学校・洛星高等学校の全生徒の通学手段に関するデータを通して、学生・生徒の徒歩・バス・自転車・バイク等を用いた移動の時空間的パターンの実態や、交通モードの選択理由を明らかにする。</p> <p>○ 学生への交通実態調査結果等と、学生参加によるワークショップの成果を踏まえて、自転車・バイクから公共交通機関や徒歩へのモーダル・シフトを可能とする新たな提案を行うことによって、学生や近隣住民ひいては京都市全体の抱える交通問題の軽減に向けた取組（改善案の試行）を行う。</p>	○立命館大学 衣笠キャンパスの全学生 約18,000人 ○洛星中学校・洛星高等学校 の全生徒約1,300人	○平成22年10月 ・学生の実態把握 ・通学交通における問題・課題の整理 ○平成22年10月～12月 ・通学交通の改善案の検討（ワークショップの実施等） ○平成22年11月～平成23年1月 ・通学交通の改善案の試行 ○平成23年1月～2月 ・通学交通の改善案の効果分析 ○平成23年2月 ・実施結果のとりまとめと今後の課題整理	4,000
京都市外からの転入者を対象としたモビリティ・マネジメント～区役所窓口での「歩いて楽しいまち」の実現に向けた取組～	京都大学 株式会社まち創生研究所 左京区役所（連携） 下京区役所（連携） 伏見区役所（連携）	○応募代表者 京都大学大学院 工学研究科教授 藤井聡 ○連絡先 電話 075-383-3238	<p>【現状・実施目的】</p> <p>○ 転入者は転入直後、通勤や通学、買い物、通院など外出時の移動手段が明確に定まっていない可能性が高い。このため、転入者へのMMは、既に在住の市民へのMMに比して、実施の効果が大きく、京都市においても転入者MMを実施する意義は大きい。</p> <p>【実施内容】</p> <p>○ 左京区役所、下京区役所及び伏見区役所（深草支所、醍醐支所を除く）の転入手続きの窓口を訪れた市外からの転入者を対象として、MMグッズ（公共交通情報等を掲載したマップ、動機付け冊子）の配布とアンケート調査を実施する。</p> <p>○ 転入者MMの次年度以降の継続手法について検討を行う。</p>	○左京区への転入者 約1,100人 ○下京区への転入者 約760人 ○伏見区（深草支所、醍醐支所管内を除く）への 転入者約1,700人	○平成22年10月～12月 ・転入者MMグッズの配布 ・アンケート調査の実施 ○平成23年1月～2月 ・効果分析 ・転入者MMの継続手法の検討 ○平成23年2月 ・実施結果のとりまとめ	3,265

事業名	実施体制	応募代表者及び連絡先	事業概要	実施対象	予定スケジュール	支援額(千円)
大学生の休日における交通行動の見直しと地下鉄駅を中心とした「地下鉄てくてくマップ」の作成	平安女学院大学 京都市交通局 上京区役所(連携) 左京区役所(連携) 中京区役所(連携) 山科区役所(連携)	○応募代表者 平安女学院大学 国際観光学部講師 井上学 ○連絡先 電話 075-414-8150	【現状・実施目的】 ○ 平安女学院大学における学生の通学手段は公共交通と徒歩、自転車が主であり、自動車の利用を控えた交通行動の魅力を熟知している。このため、休日の交通行動も自動車をなるべく控えた行動に促し、卒業後もそのライフスタイルを継続することを目的とする。 ○ 平安女学院大学では「観光」を中心に地域資源の発見とプロデュースを学んでいる。このことを生かして、市民や観光客の「公共交通+徒歩」による回遊性を促すことを目的とする。 【実施内容】 ○ 平安女学院大学京都キャンパスの全学生を対象とした「交通行動の変容」に係るMMを実施する。 ○ 地下鉄駅周辺地域の魅力を再発見し、駅を中心に徒歩での回遊を促すマップを作成し、配布する(松ヶ崎駅、鞍馬口駅、丸太町駅及び柳辻駅を予定)。	【MM】 ○平安女学院大学 京都キャンパスの全学生 約300人 【地下鉄てくてくマップ】 ○マップ配布数 4,000部	【MM】 ○平成22年10月～12月 ・MMの実施 ○平成22年12月 ・効果分析 【地下鉄てくてくマップ】 ○平成22年10月～12月 ・地下鉄駅周辺の調査 ○平成22年12月～1月 ・マップの作成及び配布 ・効果分析 【全体】 ○平成23年2月 ・実施結果のとりまとめ	1,000
西陣デマンド交通の住民ニーズ調査と実施計画策定	西陣デマンド交通を考える会 北野商店街振興組合 仁和学区福祉連合会 有限会社とりみ 佛教大学 西陣千本商店街振興組合 NPO高齢者ネット援護会 洛和会丸太町病院 西陣病院 相馬病院 株式会社スペースサピエンス 大正製パン所 上京区役所(連携)	○応募代表者 西陣デマンド交通を考える会会長(北野商店街振興組合理事長) 小川真澄 ○連絡先 電話 075-464-2830	【現状・実施目的】 ○ 公共交通機関の利用が困難な地域や高齢者などの住民に対し、買い物難民や医療難民、高齢者の交通事故を予防し、個人で利用することが多いタクシーから、乗り合って目的地まで行くジャンボタクシーに転換することにより、CO2の削減や環境問題及び渋滞問題の解決の一助に持続的に貢献することを目的とする。 【実施内容】 ○ 仁和学区の住民を対象としたデマンド交通を実現するために必要な交通行動に関する住民へのアンケート調査と実施計画の策定を行う。	○仁和学区の住民 2,200人	○平成22年10月～11月 ・アンケート調査の実施 ○平成22年12月 ・アンケート調査の効果分析 ○平成23年2月 ・実施結果のとりまとめ	838
乗ってみようIN南太秦DE市バス	南太秦自治連合会 京都市交通局 右京区役所(連携)	○応募代表者 南太秦自治連合会会長 高岡宏行 ○連絡先 電話 075-881-4688	【現状・実施目的】 ○ 右京区南太秦学区は平成20年の地下鉄東西線の太秦天神川への延伸により、バス路線が再編、新設された学区であるが、バスの利用が進まない状況にある。 【実施内容】 ○ ワークショップを実施し、割引乗車券や乗継ぎ、目的地までの時間等の情報を提供するとともに、市バスの乗車機会を設けることにより、地域住民のバス利用を促進する。併せて、ワークショップでの体験を地域で広め、MMを地域に根付かせていく人材を育てる。 ○ 南太秦学区の住民にワークショップにおいて作成したポケット時刻表を配布する。	○ワークショップ参加者 約100人/回(計2回実施) ○市バス乗車体験予定者 約100人 ○ポケット時刻表配布数 3,000部	○平成22年10月～12月 ・ワークショップの実施 ○平成22年11月 ・市バス乗車体験の実施 ○平成22年12月 ・ポケット時刻表の配布 ○平成22年10月～平成23年2月 ・バス利用者数調査(事前、中間、事後) ○平成23年2月 ・実施結果のとりまとめ	388